

「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」 (計画期間：令和3年度～5年度)の策定支援業務委託契約結果

「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」
(計画期間：令和3年度～5年度)の策定支援業務委託について、
公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」
(計画期間：令和3年度～5年度)の策定支援業務委託
- 2 委託内容 (1) 計画策定支援業務全般
(2) 計画素案の作成
(3) 市民意見のデータベース化
(4) 計画原案の作成
(5) 計画書の作成
(6) 計画書概要版の作成
(7) 市民・団体等への周知用広報資料作成
(8) 運協等へ提出する資料作成支援及び出席、議事録作成
(9) 本市との打合せ及び検討PJへの出席、議事録作成
(10) その他関係資料の作成
- 3 契約の相手方 株式会社 日本能率協会総合研究所 横浜事務所
- 4 契約金額 15,887,300円
- 5 契約日 令和2年6月1日
- 6 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社 日本能率協会総合研究所 横浜事務所	992	1
三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社	974	2

7 評価基準・評価委員会開催経過等

- (1) 評価基準
別紙1のとおり
- (2) 評価委員会開催経過
別紙2のとおり

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

受託候補者の特定にあたっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を受託候補者とする。

表 1 基本的評価事項

評価項目 () 配点	評価の着目点		配点	評価	評価点
会社の業務経歴 (5点)	平成 26 年度以降の同種又は類似業務の実績の内容及びその件数		5		
予定担当者の経験及び業務実施能力 (20点)	管理担当者	平成 26 年度以降の同種又は類似業務の実績の内容	10		
	担当者	平成 26 年度以降の同種又は類似業務の実績の内容	10		
業務実施方針及び手法 (55点)	業務内容の理解度		5		
	業務実施方針の妥当性		10		
	業務実施手法の妥当性		10		
	現行計画における課題分析の的確性・妥当性		10		
	次期計画書に関する提案の妥当性		10		
	本市の高齢者福祉施策に関する理解		10		
取組意欲等 (35点)	業務に対する取組意欲		10		
	人員体制、資料作成能力などの業務遂行能力		10		
	専門技術力		5		
	提案の実現性		5		
	提案内容から、効果的、計画的な検討への工夫の有無		5		
ワークライフバランス・障害者雇用に関する取組 (5点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定の取得、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、若者雇用促進法に基づく認定の取得		1		
	よこはまグッドバランス賞の認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.2%の達成		1		
評価点の合計 (120点)					

2 評価方法

- (1) 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価とする。
- (2) 評価点は以下のとおりとする。
 配点 10 点の項目の場合、A=10 点、B=6 点、C=0 点
 配点 5 点の項目の場合、A=5 点、B=3 点、C=0 点
 配点 1 点の項目の場合、A=1 点、B=0 点（C評価はなし）
- (3) 評価委員の合計評価点の 60%を基準点とする（評価委員 10 人全員が評価委員会に出席した場合の満点は 1,200 点、基準点は 720 点）。基準点に達しない場合は不適格とする。
- (4) 同種又は類似業務の実績については、その認定範囲を明確にし、所定の提出書類に記載すること。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価		
			A	B	C
会社の業務経歴	平成 26 年度以降の同種又は類似業務の実績の内容及びその件数		実績が5件以上	ACに該当しない	実績が2件以下
予定担当者の経験及び業務実施能力	管理担当者	平成 26 年度以降の同種又は類似業務の実績の内容	実績が5件以上	ACに該当しない	実績が2件以下
	担当者	平成 26 年度以降の同種又は類似業務の実績の内容	実績が5件以上	ACに該当しない	実績が2件以下
業務実施方針及び手法	業務内容の理解度		特に優れている	十分である	十分とはいえない
	業務実施方針の妥当性		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	業務実施手法の妥当性		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	現行計画における課題分析的的確性・妥当性		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	次期計画書に関する提案の妥当性		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
取組意欲等	本市の高齢者福祉施策に関する理解		特に優れている	十分である	十分とはいえない
	業務に対する取組意欲		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	人員体制、資料作成能力などの業務遂行能力		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	専門技術力		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	提案の実現性		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
	提案内容から、効果的、計画時における工夫の有無		特に優れている	妥当である	十分とはいえない
ワークライフバランス・障害者雇用に関する取組	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定		策定し、労働局に届出ている（従業員 101 人未満の場合のみ加算）	策定していない、又は策定しているが従業員 101 人以上	—
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定		策定し、労働局に届出ている（従業員 301 人未満の場合のみ加算）	策定していない、又は策定しているが従業員 301 人以上	—
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定の取得、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、若者雇用促進法に基づく認定の取得		取得している、または認定されている	取得していない、又は認定されていない	—
	よこはまグッドバランス賞の認定の取得		認定されている	認定されていない	—
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.2%の達成		達成している（従業員 45.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 45.5 人未満）	達成していない（従業員 45.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用していない（従業員 45.5 人未満）	—

○評価委員会開催経過

<p>委員会開催日時 及び開催場所</p>	<p>令和2年3月9日(月) 10時10分～12時00分 @市庁舎5階関係機関執務室</p>											
<p>主な発言内容</p>	<p>【株式会社日本能率協会総合研究所】 委員:説明箇所以外で現7期計画の課題があるか。2040年の未来像から逆算するとは具体的にどのような手順をイメージしているか。 業者:7期計画のレイアウト部分は大きく変更するつもりはない。課題整理の部分が少し弱い。課題が何かをしっかりと捉えて整理する必要がある。定量データが高齢者のデータに偏っている。高齢者を取り巻く地域・社会環境のデータも必要。横浜市は多死社会に突入している。今65歳前後の人が、20年後の2040年にどのようなサービスを受けたいのか確認する必要がある。事業者や市役所とそれらの人々とのコミュニケーションが重要。 委員:これまでの類似業務の実績・経験を横浜市の計画にどのように活かせるか。 業者:「見える化」システムの具体的な作業支援・アドバイスができる。ワークショップなどの手法を提案できる。国の事業の経験から、高齢分野だけでない地域のまちづくり等、全国の事例から様々な視点で提案できる。 委員:横浜市は日本最大の基礎自治体・保険者であるが、8期計画策定にあたり創意工夫する点はどこか。 業者:区レベルの施策が重要だと考える。市と区の運動をしっかりと評価する。区の行動指針に統一性をもたせるように市の方針を示していく。 委員:業務実施体制について、主担当者は横浜市ファーストで担当できるか。 業者:基本的に主担当は介護保険事業の業務は1本のみ担当。計画支援チームとしても体制を整備している。 委員:次期計画の方向性について、もう少し具体的に説明を聞きたい。 業者:事業量だけでなく、指標の設定が重要になってくる。地域ケアプラザや区の情報を市が共有できる仕組み作りが必要。</p> <p>【三菱UFJRC株式会社】 委員:横浜市の現行の7期計画について感想を聞きたい。 業者:かなり書き込んでいる。その反面多層的になっている。少しシンプルにすると市民に分かりやすい。 委員:横浜市の計画策定にあたり、創意工夫する点はどのようなところか。 業者:横浜市は特殊であり、大きさが国規模。施策も小さな自治体とは書きぶりが違ってくる。各区での取り組みをもう少し目に見える形にする必要がある。区での議論も必要で、計画と並行して進めていかなければならない。調査分析からのプロセスを8期計画には盛り込んでいく。 委員:御社の強みは何か。 業者:移動支援や人材の調査、都道府県支援調査等、幅広い知見・フィールドを持っている。見込み量の立て方も独自の視点で提案できる。 委員:横浜市の業務にどれだけ注力できるか。管理担当者、担当者の本業務への関わり方を具体的に聞きたい。 業者:周りと連携し、クオリティの高いものに仕上げていく。担当者2人が主な窓口となりスケジュール管理等調整、もう1名が資料作成補助等、管理担当者が知見を提供する。 委員:次期計画の方向性について、もう少し具体的に聞きたい。 業者:事業計画は市のもの。国の動きに合わせるのかどうかも市の判断。国の施策に沿いながら、どう市の施策を支援するかを大切にしている。</p>											
<p>評価委員の出席状況 「○」出席・「×」欠席</p>	<p>第1回</p>	<p>A 委員長</p> <p>○</p>	<p>B 副委員長</p> <p>○</p>	<p>C 委員</p> <p>○</p>	<p>D 委員</p> <p>○</p>	<p>E 委員</p> <p>○</p>	<p>F 委員</p> <p>○</p>	<p>G 委員</p> <p>○</p>	<p>H 委員</p> <p>○</p>	<p>I 委員</p> <p>○</p>	<p>J 委員</p> <p>○</p>	<p>出席者数</p> <p>10/10</p>
<p>事務局</p>	<p>健康福祉局高齢健康福祉課 近藤、水野</p>											